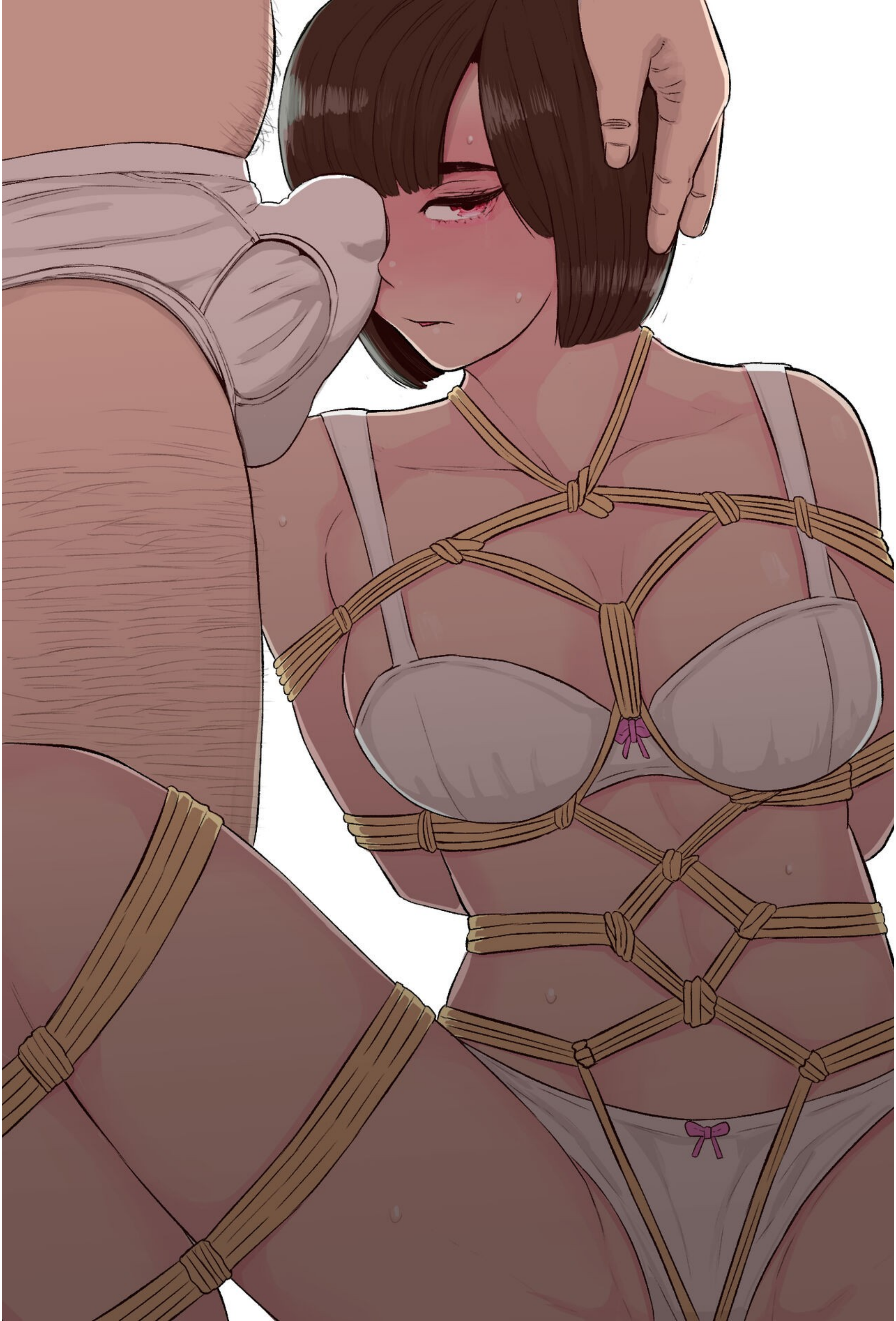


私の名前は
阿藤羽海
（あとううみ）
この春
北関東の片田舎から
都内の大学に通う為
上京して
一人暮らしを
始めたばかりの
大学生である
未だに一人暮らしに
慣れない私はしょっちゅう
実家を思い出しては
父
私
妹
母
チャッピー
感傷に浸っていた
ハア・・・
チャッピーに
合いたい・・・
フー・・

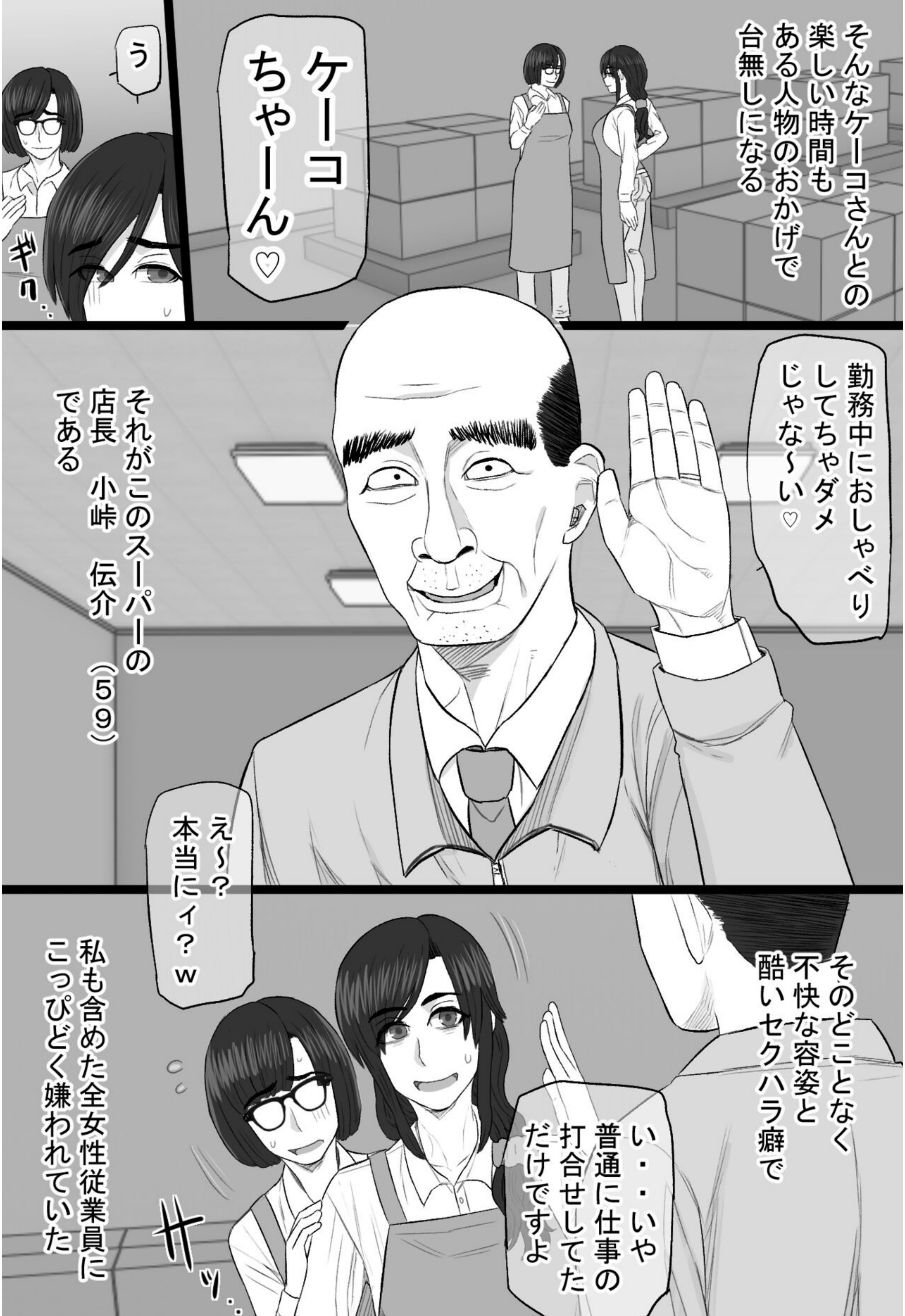
しかし家族に会えない寂しさも
ウミちゃ〜ん
あ 優ちゃん ノアさん
入学して早々にできた２人の友人のおかげで紛れていた
帰り３人で一緒に課題やらない？
駅前のスタ○とかで良いかも
陸上部所属で姉後肌の
石田 優 こと 優ちゃん
そしてもう一人は社長令嬢でお嬢様な
上嶋 希空 こと ノアさん

タイプの違う3人
だったが
何故かウマが合い
よく一緒にご飯や
遊びに行ったり
していた
そして
あ
お～い
飯塚く～ん
飯塚君も
一緒にスタ○で
課題やらな～い？
イっ？！
ゼク・・
いや・・・
あの・・・
彼の名前は
飯塚　コウタ
俺は
その・・・
ちょっ・・・
優ちゃん！？
え～
良いじゃ～ん♡

その・・ハハ・・・
・・・・
じゃ・・じゃあ
そういう事で・・
あ
逃げた♡
私が今一番気になってる男の子である
も～・・・優ちゃ～ん
ハハ ゴメンてｗ
でも超ウケる♡
フフ
彼絶対童貞よね♡
私の飯塚君への気持ちを知っていた優ちゃんは私の目の前でよく彼をからかっていた
中高一貫の女子校に通っていて男子に免疫の無い私にとって
ったくも～・・・
飯塚君の素朴で優しそうな雰囲気は何故か魅力的に映ったのだった

後から聞いた話だと男子校に通っていた彼も
ヤベー・・・アトーさんと目合っちった♡
童貞には刺激が強すぎる
ドキドキ
同じような理由で私の事が好きだったらしい
今思えばこの時に勇気を出して彼にアプローチしていれば私は・・・
友人たちと別れた後私は日課であるスーパーでバイトしていた
ケーコさ～ん

ここの商品の事なんですけど
ああそれはね・・
新人である私に仕事を教えてくれている先輩従業員は
３２歳の主婦清水　恵子さん
美人なのに滅茶苦茶優しくて気さくな先輩だ
わ
以前見せてもらった旦那さんの写真が飯塚君に似てる事もあり
飯塚クンに超似てる
一回り上の恵子さんに親近感を感じていた


そんなケーコさんとの楽しい時間もある人物のおかげで台無しになる
ケーコちゃーん♡
う
ギク・・
勤務中におしゃべりしてちゃダメじゃな～い♡
それがこのスーパーの店長　小峠　伝介（５９）である
そのどことなく不快な容姿と酷いセクハラ癖で
え～？本当にィ？ｗ
い・・いや普通に仕事の打合せしてただけですよ
私も含めた全女性従業員にこっぴどく嫌われていた
ハッ・・

ただ私自身は
まだセクハラ被害を
受けて無かった
ギクッ..
あ
マリアさん
え！？
何故なら
なーんだ
いないじゃ・・
ーーて
うわあ
ああ！？
ギクゥッ..
元ヤンとの噂の女性社員
三橋　マリア（32）
さんがいたからである
じゃ・・じゃあ
他に仕事あるから
失礼するね～♡
そそくさ～
チッ・・・
・・・
本当に
懲りねーな
ケーコさん曰く
マリアさんが
半年前に入社してから
彼女は毎日
セクハラをする店長に
威圧を掛けていた
らしい

そのせいか
店長はすっかり委縮してしまい
女性従業員に対してのセクハラはめっきり減ったらしい
まああの店長(アホ)は置いておいて
ちょっと商品について訊きたいんだけど
あ・・ハイ
おかげで私は平穏無事にこのバイトを続ける事ができていた
そんな感じで楽しい大学生活を送っていた私にはある日課があった
ゾクゾク~…♥
ふ~…♥
んっ…♥
ふ~…♥
それはオナニーである
クニュ♥
クニュ♥

中高一貫の女子校出身のせいか交際経験０で丸っきりの処女だった
私だが性欲は人並み以上であり
ビク…ん…
ッ…
クニ
クニ
小学校高学年頃から家族に隠れてする様になっていた
大学に入るまではお気に入りのイケメンアイドルで妄想していたが
コータ君♡
ここ最近では飯塚君とエッチする妄想で自分を慰めていた
ウミ♡
フ〜…
フ〜…
そして――
後で聞いた話によるとこの時期飯塚君も
アトーさん
・・・・
シコ
シコ
私を想ってオナニーをしていたという

そんな
悶々とした
日々を
送っていた
ある日
――
ッ・・・
ゼク・・・
私は偶然
ケーコさんと店長の
不倫現場を目撃
してしまう
うへへへへ♡
レロォ・・・
ゼク・・・
ダッ・・・メ・・・

丸きり状況が
呑み込めず
パニックになる
私だったが
え？え？
どーしよう？
清楚で
優しく
憧れだった
あの
ケーコさんが
心の底から
嫌悪する店長と
恍惚とした表情で
セックスする場面は
ヅ…あ♥♥
ゾワゾワ♥
ハ～…♥
ハ～♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
あまりに衝撃的過ぎて
その場から一切
目を離せなかった

そして初めて見た
生のセックスに
当てられ
ゴク・・
興奮した私は
誰も・・・
来ないよね？
周囲を入念に警戒すると
その場でオナニーした
ゼクン
んぅ
スゴ・・・めっちゃ濡れてる
クチュ・・

やがて
ハ～・・♥
ツ・・♥
ほ・・♥
ハ～・・♥
私とケーコさんは
ゾクゾク・・
ゼクン♥
ほぼ同時に絶頂した
ゼクンッ♥♥♥
それから我に返った私は
わ～何やってんだ私
そそくさと身支度を整えると
急いでその場から立ち去った
そそくさ～
まさか店長にその様子を見られているとも知らずに・・・・

それから数日
気まずさから
私はケーコさんの
顔を見る事ができず
？
バイト中は
ずっと彼女との
接触は避けていた
しかし
それに反して
くぅぅ♥
ゼク…♥
クチュ…♥
ケーコさんと
店長のセックス
の光景が私の
頭から離れず
オナニーの回数が
飛躍的に増えていった
クチュ…♥
そして――

その日
ケーコさんと
マリアさんの
２人は非番で
私は一人
倉庫で
作業を
していた
店長が
その日を
待ち望んでいた事
も知らずに
アトーちゃん♡
!?
店長は狙いすました
かの様に私に
近寄ってきた
ギク‥
は・・はい
何でしょうか？
いやね
確認したい
事があって
私は今すぐにでも
逃げ出したかったが
勇気を振り絞って
要件を訊くと
アトーちゃんさ
この前
この倉庫前で・・・
オナニー
してなかった？ｗ
ギクッ

え・・あ・・・いや・・・違うんです！
え〜？ｗ バッチリ防犯カメラに映ってたよ？Ｗ
あ・・あ それは・・
今の所 僕しか確認してないけど どうしようかなｗ
今考えれば 店長の明らかなウソだったが
ええ・・？ どうしよう どうしよう
どうしよう どうしよう どうしよう
私は頭が真っ白になり・・・
まあ
バレたくなかったら
一つ提案があるんだけど
実はね・・・
HOTEL

気が付くと何故か私はラブホテルにいた
ど・・どうして？！
どうして私はこんな場所に・・・！？
そして
ガチャ
バッ・・
キャッ！？
フ～さっぱりしたｗ
シャワーを浴び全裸になった店長が出てきた
アトーちゃんもどう？ｗ
嫌あ・・・何でこんな・・？
すぐに逃げ出さなかった事を死ぬほど後悔するが
何故か私は一瞬見えた
店長の勃起したペニスが頭に焼き付いて離れなかった

ガッ
ボロッ
！？
不意を突いた店長は私の両手を拘束すると
ギュッ・・
・・・！？
ズン
その凶暴な肉棒を私の目の前に突き出した
初めて生で見るソレは
あ・・・あ・・・
ギン
ギン
凶悪な形と大きさで独特の臭いがした
ひ・・・
ホラ咥えて♡
グニィ・・
私は口を閉じて必死で抵抗したが
い・・・・や！
店長は強引に肉棒を口にねじ込んだ
グググ・・・

入れた瞬間
店長は容赦なく
腰を振り
おほ～♡
いや・・・
ズン
ズン
ズン
ズン
アトーちゃんの
口マンコ最高♡
ズボ
ズボ
あ～
出る出る
ッ・・・
!!?
ドクン
私の口の中で
大量に射精した

熱くて生臭い物が口一杯に拡がり
ゴホッ
ううっ
私は思わず口の中の精液を吐き出すと
すると
その隙をついて店長が素早く私のスカートを脱がせ
グイ
やっ!?
ッ…!!
私の女性器が露わになった

そしてすぐさま私の股に顔を突っ込むと
ググ
ビク・・・
やっ・・・やめて下さい！
あ～アトーちゃんやっぱ処女なんだ♡
くぱっ
トロォ・・・
それにフェラしただけでこんな本気汁が・・・♡
じゃいただきま～す♡
全力でアソコにむしゃぶりついた
ジュルルル
ビクン
ひうっ

生理的に嫌悪している店長にクンニされてるのに
ツ…♡♡
ビクン♡
私は全くその刺激に抗えずにいた
ビクン♡
あ…♡♡
やがて――
あ～ヒクヒクしてきた♡
ヒク…♡
ヒク…♡
あ…♡
あ…♡
ゾクゾク♡
は～…♡
は…♡
ダ…メ…♡
私は絶頂した
ビクン♡
ッ…あ♡♡

オナニーでも
味わったことの無い
深い絶頂を味わい
ハぁ・・♥
ウ・・・
ソ・・・？
ハぁ・・♥
しかも
その相手が
嫌悪する店長
と言う事もあり
こんな
好きでもない
オジさん相手に
・・？
何で私
・・？！
ハぁ・・♥
ハぁ・・♥
私は今までの人生で
これ以上無い位に
酷く動揺していた
アトーちゃん♡
そして――
私が混乱から
立ち直る間もなく
コンドームも
着けたし
本番
いこーか♡
!!?
店長は素早く
コンドームを着け
ググ、、
セク、、
その凶悪な肉棒を
ギンギンに滾らせ
迫ってきた

何とか挿入だけは
阻止しようと
必死に抵抗するが
お・・
お願いします！
それだけは
・・・・！
絶頂し力も入らない
状態で徐々に
押し込まれて行く中
何故か突然
私の脳裏には
家族の顔と
飯塚君の顔が
思い浮かんだ
その瞬間
私の身体は
店長の肉棒で
貫かれた
ゾクッ
うあっ

ギチ‥
ギチ‥
十分濡れていたせいか破瓜の痛みはほぼ感じず
へ～‥
へ～‥
何これ・・・・!?
パン
パン
うりゃw
パン
パン
はぁう♡
パン
パン
アトーちゃんもう感じてるんだ♡
スケベの才能あるよ♡
パン
ピストンにも思わず喘ぎ声が出てしまうのだった
いや・・・違・・・

はっ…♥
ハ～…♥
あっあっ♥
ハ～…♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
店長のピストンは最初から激しく
パンッ♥
パンッ♥
ッ…うッ♥
パンッ♥
ダメ…ダメ…♥
ゾクゾク…♥
ダメ…ダメ…♥
ものの数分で――

私は絶頂した
それから数時間
パン
は…あ
あ
あ
パン

絶倫の店長に犯され続け
ズンッ♥
ズンッ♥
ズンッ♥
は～…♥
は～…♥ やっ…だぁ♥♥
私は何度も何度も絶頂した
パンッ♥
パンッ♥
パンッ♥
ぜクっ♥
もう…許してぇ♥

こうして————
じゃあ ボク先に 帰るね ｗ
タクシー代 置いておくから アトーちゃんも 気を付けて 帰ってね ｗ
私の最低な 初体験が 終わった
初めての相手が あのイヤらしい 心底嫌悪する店長だったのに
そのセックスで 何度も絶頂した自分自身に 心底絶望した
そして 今思えば
私はこの日を境に 壊れていった と思う

数日後―――
ショックで学校もバイトも無断で休んでいた私だったが
いや～♡
来てくれると思ったよ♡
アトーちゃん♡
・・・・
店長の誘いはどうしても断れなかった

それから
毎日のように
私は店長に抱かれ
ッ…
ハ～…
ハ～…
んうっ
何度も絶頂しながら
セックスの快楽に
溺れていった
ゾワゾワ…
イクッ
イクッ…

更に数日後―――
何とか学校に通える様になってはいたものの
・・・・・
講義の最中もセックスのことで頭が一杯で
全く集中できずにいた

そして――――
ちょっと何かあったの？！
ウミちゃーん
ウミちゃんが無断で休むなんて超めずらしいじゃん
顔色良くないよ？ちゃんとご飯食べてる？
優ちゃんノアさん・・・
無断欠席を続けた私を心配して友人たちが顔を出してくれた
・・・
ゴメンちょっと風邪ひいちゃってて・・・
ギュ..
適当な嘘で誤魔化すしかなかった
60近い店長とずっとセックスをしていたとは言えず
あ
丁度いいところに
お～い
すると

そこへたまたま
飯塚君が
通りかかった
飯塚君も
ウミちゃんの事
心配してたよね
ウミちゃん
風邪だったんだって
あ
そーなんスね
数日ぶりに好きな人に
会えて
しかもその人が
私の心配をしていた
事が分かって
嬉しいハズなのに
私の心は
罪悪感で押し潰され
そうになってしまい
ゴ・・ゴメン
私これから
バイトだから！
タッ・・
その場から
思わず逃げて
しまった
いや
いや！
え～？
飯塚君
何かやらかした？
全然何も
知らないッスよ

アトーさん・・・・
ハア・・・
この時の
私は全く
思いもしなかった
まじで
アトーさんに
何かやらかした
のかな・・・
こういう時は
素人投稿モノの
動画でシコって
寝よ・・・
おハンドル
ネーム「店長」
の新作来てる
じゃーん♡
この人の
人妻モノの動画
超ヌケるん
だよな♡
何々
今度は女子大生
か　スゲーなｗ
まさか
──
う

ハ？！
え？！アトーさん！？
イヤイヤ
似てるだけの別人だよな？！
飯塚君に私の痴態を見られるなんて――――
痛くない？
その時の私は言われるがままに縛られて
だ・・大丈夫です・・
撮影されてる事にも気づいてなかった

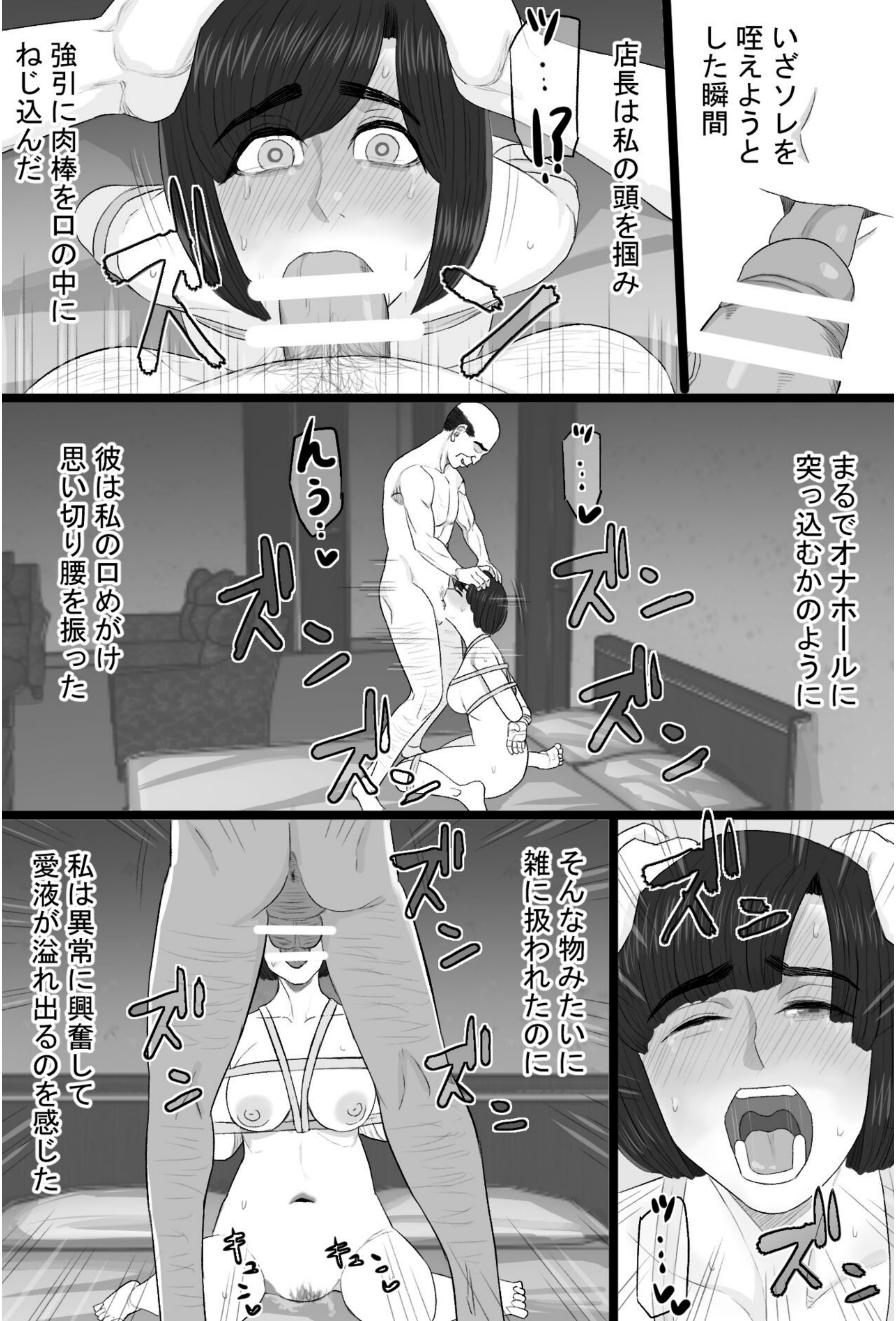
目隠しをされ
視覚を奪われた
私は
ドキドキ
・・・
不安な気持ちで
ただそこに
いるしかなかった
すると
ブブブブ
店長はバイブ
らしきもので
私を責め始めた
グィ..
ビクッ
うあぃ
何
コレェ？
ブブブ
彼は念入りに
胸を重点的に
刺激すると
プク..
ブブブ
それに反応して
乳首がぷっくり
と硬くなった

目隠しをされてるせいか感度が上がっており
ビクン
くっ…♥
ひぐ…♥
ブブブ…
手足を縛られて身動きが取れない中身をよじってその快楽に耐えるしかなかった
あひ♡
ひん♡
・・・
そして――
その責めで私のアソコはビチョビチョになった
ハ~…♥
ハ~…♥
ビクン♥
ビクン…♥
お～ｗ
アトーちゃん
スッゲートロトロｗ
トロォ…♥

これだけ濡れてれば
ズズズ..
くっ…う
ゼクン
お〜入る入る♡
ズズズ..
店長はそのバイブでゆっくりと私のアソコを責め始めるのだが
ゼクン
ズブッ
ズブッ
ズブ..
ゼクン・・.
これ・・・は・・・？
ゼクン
いつもは私を簡単に絶頂させるのに
ゼクン
ツ…
その時の店長は私がイカない様にわざと浅い快感だけを与え続けていた
ズッ...
ズッ...

そんな蛇の生殺しの様な責めで
これじゃ・・
ハ～・・♥
ハ～・・♥
こんな玩具じゃ足りないっ・・
私がもどかしく思っていると
アトーちゃん♡
!?
ゼクッ
グイ
コレな～んだ？w
店長はいきなり私の顔に何かを押し付けた
目隠しで見えなかったものの
あ・・ああ・・・
熱くて固い・・・!
私はソレがパンツ越しに猛り立った肉棒だとすぐに分かった

店長はアイマスクを取り
スッ..
それじゃ
何をすれば分かるよね？ｗ
――と言ったので
手が縛られ不自由な中
口で何とか店長のパンツを下ろすと
私は
ゴクリ..
中からパンパンに膨れ上がった
凶暴な肉棒が飛び出した
ッ…!!


いざソレを咥えようとした瞬間
ッ…!?
店長は私の頭を掴み
強引に肉棒を口の中にねじ込んだ
ズンッ
まるでオナホールに突っ込むかのように
ッ…♥
ズン
ズン
ズン
んぅ…♥
ズン
彼は私の口めがけ思い切り腰を振った
ズン
ッ…♥
ズン
そんな物みたいに雑に扱われたのに
ズン
ズン
ズン
私は異常に興奮して愛液が溢れ出るのを感じた
キュン
キュン♥
キュン♥

そして暫く――
挿入の時を迎えるが
じゃあ挿入れるね♡
・・・
何と店長は毎回必ず着けているコンドームをしていなかった
!?
ま・・待ってください!
あの!
コンドームは?
ん?
え～?着けなきゃダメ?w
だめです!お願いします!
万が一妊娠したら・・
朦朧とした意識でなんとか拒否しようとするが

間髪入れずに強引に挿入した
ッ…あ
ミチィ…
コレすご・・・
ハ～…
初めて味わう生の肉棒は非常に熱く
ハ～…
その凶悪な形を明確に感じるようになった
生チンポの味はどお？ｗ
くぅ…

その時のセックスは全く喘ぎ声が抑えられなかった
ズンッ♡
ズンッ♡
あ…あっ♡
ズンッ♡
ダ…メ♡♡
焦らされて感度が上がったせいなのか
生の感触が思った以上に良かったからなのか
ズンッ♡
ズンッ♡
あっあっ♡
ズンッ♡
ズンッ♡
ゾクゾクゾク…♡
とにかく今までのセックスの中で一番気持ちよかった

ッ・・・
すげえ・・滅茶苦茶エロい・・・
シコ
シコ
あ〜っ
それから容赦ないピストンは激しさを増す中
ダ…メッ
突然店長は――
ねえねえ
中で出して良い？
恐ろしい提案をしてきた
！？

ズボ♡
ズボ♡
快楽で意識が
朦朧な状態でも
何とか止める様
懇願するが
ズボ♡
やです♡
止めて下さい…♡
ゾクゾク‥
大丈夫♡
ちゃんと責任とってあげるから♡
だから一杯気持ちよくさせてあげるね♡
その言葉を聞いた瞬間
私の口元は緩んだ
ニヘぅ。。

そして
私は店長の
射精と同時に
絶頂した
こうして―――
私は身も心も
店長の色に
染まっていくのだった
・・・
もう一回戦
いく？ｗ
・・・
何やってんだ
俺・・・
・・・
ハイ
♡